

## 2014年11月政情（内政・外交）

### 1. 内政

#### （1）国会議員再選挙

16～30日、5月4日の国会議員選で当選したCD党議員らに対して異議申立てがなされた事にもなう再選挙が選挙区7-1, 2-4, 7-2において行われ、いずれの選挙区においても異議申立て対象となっていたCD党議員が当選した。これにより、現国会議席数は全71議席中63議席（PRD党25, CD党23, パナメニスタ12, 民衆党1, モリレナ党1, 無所属1）が確定した形となり、残り8議席については12月14日及び21日に行われる再選挙において確定する見込み。

#### （2）領事制度改革プロジェクトの承認

18日に行われた閣議において、領事制度の透明性の確保を目的とし、領事職員の旅費及び領事業務手数料（商船業務を含む）の見直し等を含む領事制度改革プロジェクトが承認された。商船業務を取り扱う20の主要公館（東京、神戸を含む）において領事の報酬見直しが行われるほか、海技免状の手続き・更新手数料がこれまでの半額となる予定。また、領事手数料を入金する統一口座の開設が決定された。

#### （3）会計検査院長の選出

26日、国会において会計検査院長の選出が行われ、与党候補のフェデリコ・フンベルト氏が当選した。同選出においては「フ」氏の他に2名の無所属候補が出馬したが、結果的に現国会議員61名中60名が「フ」氏に投票し、同氏の圧勝となった。また副会計検査院長として、PRD党に所属しペレス・バジャダレス政権時代に貿易産業大臣を務めたニツィア・デ・ビジャリアル氏が総得票数41票を獲得し当選した。両氏は来年1月2日から2019年12月31日まで同ポストを務める予定。

### 2. 外交

#### （1）サイン・マロ副大統領兼外務大臣のアラブ首長国連邦訪問

##### ア 皇太子との会談

12日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン・ア首連皇太子との会談を行った。同会談においては、パナマ運河の拡張や、港湾・空港のインフラ整備へのア首連の投資及び協力、両国間直行便開通の可能性につき話し合いがなされた。

##### イ 二国間外相会談

13日、「サ」外務大臣は、ア首連外務大臣との会談を行った。両国大臣は外交関係強化のため、今後両国に大使館を設置する事で一致した。ア首連外務大臣からは2015年に同国皇太子とともにパナマを訪問したいとの提案があった。

#### （2）ララ・ジェペス元エクアドル国会議員の身柄引き渡し

14日、パナマに亡命していたララ・ジェペス元エクアドル国会議員の身柄がエクアドル当局に引き渡された。パナマは2013年10月に「ラ」元議員の亡命を受け入れたが、その後同議員がエクアドルの内政に干渉するような発言をするなど亡命者としての地位に反する行為を行ったことに加え、エクアドル当局より同議員に対し殺人共謀の罪で懲役10年の実刑判決が下されたことから、本年5月に亡命が取り消されていた。

#### (3) パナマ・コスタリカ首脳会談

19日、バレーラ大統領はパナマを訪問したコスタリカ・ソリス大統領と会談を行った。両大統領は、治安問題、通商関係、国境、観光等のテーマにつき話し合いを行った。

#### (4) 在ベリーズ・パナマ大使館臨時代理大使の殺害

24日、ホセ・ロドリゴ・デ・ラ・ロサ在ベリーズ・パナマ大使館臨時代理大使がベルモパン郊外で殺害された。パナマ外務省は事件の究明のために近々ベリーズへ外務省員及び警察庁司法捜査局員から成る調査団を派遣する旨発表した。

#### (5) パナマ・ホンジュラス首脳会談

26日、バレーラ大統領はパナマを訪問したエルナンデス・ホンジュラス大統領と会談を行った。両大統領は中米における食の安全、治安問題、通商関係、エネルギー、観光等のテーマにつき話し合いを行った。また、本会談においては、エルナンデス大統領より2015年米州首脳会議へのホンジュラスの参加が確認された。